

6. 表彰

1. 第2回 日本運動器理学療法学術集会

受賞者：大住倫弘，大竹祐子，住谷昌彦，熊谷晋一郎，森岡 周

演題名：複合性局所疼痛症候群における知覚運動協応の分析

内 容：到達・把握運動の3次元動作計測から取得される運動学的データを用いて，CRPS 症例における知覚運動協応の変容を定量的に分析した．CRPS 患肢の運動計測を治療前後で実施し，詳細に分析することによって知覚運動協応の破綻を定量的に評価することが可能となることが示唆された．

2. 第21回 日本ペインリハビリテーション学会学術大会

受賞者：西 祐樹，大住倫弘，信迫悟志，森岡 周

演題名：痛み関連回避行動と人格特性の関連性

-Voluntary movement paradigm を用いて-

内 容：任意に痛みを回避できる痛みの恐怖条件付け課題を作成し，回避する人を抽出した．その結果，痛みへの回避にかかわらず，恐怖反応が惹起された．一方で，痛みを避ける人は避けない人と比較してリスクを避ける傾向にある損害回避気質や特性不安が有意に高値を示し，新しいものに惹かれる新奇性追求は有意な低値が認められた．以上より痛み関連回避行動はそれぞれの人格特性に依存して異なることが明らかになった．

3. 第14回 日本神経理学療法学会

受賞者：高村優作，藤井慎太郎，大松聡子，生野公貴，田中幸平，万治淳史，
富永孝紀，阿部浩明，森岡周，河島則天

演題名：能動的注意と受動的注意からみた半側空間無視の病態特性

—クラスター分析による特徴抽出—

内 容：能動的注意と受動的注意のいずれかに優位な無視症例を示す症例が存在していることをクラスター分析の結果より示し，損傷領域との関連性について示した．

4. 第 14 回 日本神経心理学療法学会

受賞者：藤井慎太郎，高村優作，大松聡子，生野公貴，田中幸平，万治淳史，
阿部浩明，森岡 周，河島則天

演題名：能動的注意と受動的注意からみた半側空間無視の病態特性
—縦断記録による回復過程の把握—

内 容：能動/受動的注意と相互の関連性から無視症状の特性を捉える新たな評価方法を提案し，経時的に評価することで無視症状の回復特性を把握することを目的とした。能動/受動課題の実施によって得られる 4 変数によって，無視症状の異なる特徴が抽出可能であった。無視症状の特性は幾つかのサブタイプに分類できる可能性があり，個々のタイプに応じて無視症状の回復プロセスにも違いがあることが示唆された。